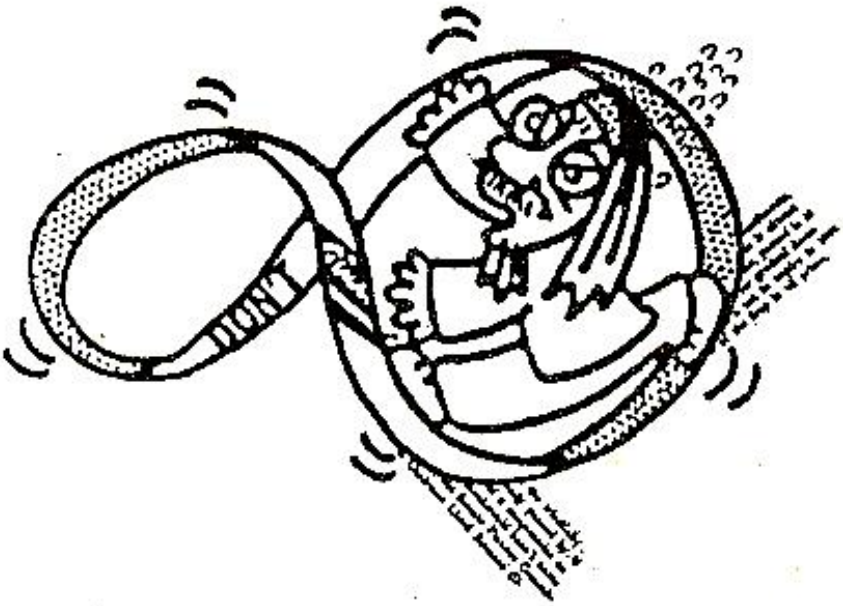
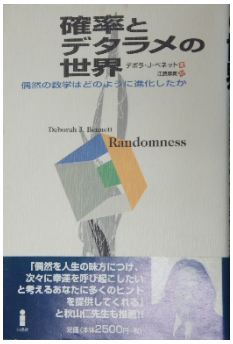
⑭・帯・推薦本





確率とデタラメの世界（帯文）　*(Randomness)*

著者： Deborah J. Bennett

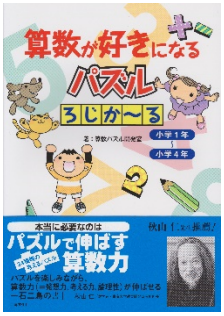
訳者： 江原　摩美

出版年： 2001 年

発行所：（株）白揚社

総頁数： 250 ページ

解説：偶然の数学はどのように進化したか?
「偶然を人生の味方につけ、次々に幸運を呼び起こしたいと考えるあなたに多くのヒントを提供してくれる」と秋山仁先生も推薦!!　(p3～p4)



算数が好きになるパズル　(小学 1 年～4 年)
ろじか～る（帯文）

著者： 算数パズル開発室

出版年： 2008 年

発行所：（株）世界文化社

総頁数： 110 ページ

解説： 本当に必要なのはパズルで伸ばす算数力
「パズルを楽しみながら算数力(=発想力、考える力、論理性)が伸ばせる一石二鳥の書」

算数が好きになるパズル　(小学 1 年～4 年)
〈もっとろじかーる〉（帯文）

著者： 算数パズル開発室

出版年： 2012 年

発行所：（株）世界文化社

総頁数： 110 ページ

解説： 身につけたい「考える力」を育てる算数パズル
「我が子に身につけさせるべきは考える力、それが自立の原動力だから。考える力はパズルでも将棋でも、本書からでも伸ばすことができる」

算数が好きになるパズル　(小学２年～4 年)
<数のアタマ編>（帯文）

著者：　算数パズル開発室

出版年：　2008 年

発行所：（株）世界文化社

総頁数：　110 ページ

解説：　「考える力」を伸ばす数の算数パズル
「算数を学ぶ目的は、筋道を立てて考える力を身につけることです。パズルは楽しみながら同じ能力を伸ばすことができます。

算数が好きになるパズル　(小学２年～4 年)
<図形のアタマ編>（帯文）

著者：　算数パズル開発室

出版年：　2009 年

発行所：（株）世界文化社

総頁数：　111 ページ

解説：　「考える力」を伸ばす数の算数パズル
「数と同様、図形にはいろいろな形があります。形に関心を抱くと生活が楽しくなります。さぁ、パズルをたのしみながら形の達人を目指そう」

算数が好きになるパズル(入学準備～3 年)
〈迷路のろじかーる〉（帯文）

著者：　算数パズル開発室

出版年：　2016 年

発行所：（株）世界文化社

総頁数：　110 ページ

解説：　考えることが好きになる!
「考える力」の基礎を育てる
「あなたが欲しいものをひとつだけプレゼントしよう」と言われたら、私は「考える力」と答えるでしょう。考える力さえあれば、何だって手に入れることができるからです。本書は、子どもたちに遊びながら“考える力”を身につけることができる本です。

算数が好きになるパズル　(小学１年～6 年)
<論理のろじかーる>（帯文）

著者： 算数パズル開発室

出版年： 2017 年

発行所：（株）世界文化社

総頁数： 110 ページ

解説： 身につけたい!
論理的に考える力を伸ばす算数パズル
論理的にものごとを考える力、人生を切り拓く魔法の力。
本書でパズルを楽しみながら、この魔法の力を養おう。

イラストで学ぶ離散数学

著者：伊藤大雄

推薦文：秋山 仁

出版年： 2019 年

発行所： 株式会社　講談社

総頁数： 181 ページ

解説：離散数学は数学の分野としては新しいのですが、未知の宝庫でもあります。そして挑戦しがいのある未解決の問題が数多く潜んでいます。この分野は近年のコンピューターの目覚ましい発展とともに進化し続けてきた数学のニューフロンティアでありコンピューターサイエンスを学ぶためには離散数学が基礎基本となります。

本書の特徴を簡潔にまとめると次のようになります。

1. 本書の冒頭にはこの分野の魅力的な生理がいくつも紹介されておりこの分野についての好奇心を掻き立てます
2. 離散数学を学ぶ上で学ぶ上で必要と思われる集合・論理・写像・関係・機能法・順列・グラフ・無限集合などの知識を網羅しており、これらさえ押さえれば離散数学の探求が始められます。
3. この分野は、創意や工夫を凝らしてエレガントに解くタイプの問題が数多くあり本書の随所にその発想の輝きが見られます。
4. 解説のレベルが統一されており読みやすくなっています。本書は高校の数Ｉレベルの知識があれば読破できるように配慮されており文系の方でも独習できます。
5. 適当な難易度の問題が付記されており習ったことを定着させ応用できるように工夫されています 。

読者の方々が離散数学の魅力を堪能し将来これらの理論を生活や勉学研究に役立てていかれることを期待します。

数の悪魔　算数・数学が楽しくなる 12 夜

著者：エンツェンスベルガー

発行所：　昌文社

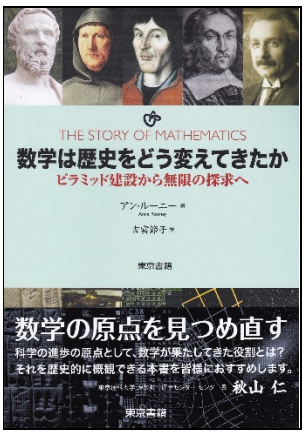
解説：数学がこわくなくなります。悪魔という天使があなたを数学のパラダイスへ誘い、あなたの数学ぎらいを治します。

寺田寅彦　俳句の窓から

著者：巻田　泰治

発行所：　文學の森

解説:　寺田寅彦はユニークで豊かな鉱脈につながる物理学の新天地を、夏目漱石との交流によって築いた。漱石との交流で培われた「真実を心眼で見抜く能力」と「句を読む研ぎ澄まされた感性」がそれに大きく役立っている。この本から心酔できる良き師、良き友を得ることが人生にとって何にも勝る宝であることに気付かされる。



数学は歴史をどう変えてきたか

著者：アン・ルーニー

訳者：吉富節子

発行所：　東京書籍

解説:　科学の進歩の原点として、数学が果たしてきた役割は何か。本書はそれを歴史的に概観しています。